

## 仕様

項目	仕様
製品名	SterilizAir (ステライザ)
型式	USJ-2型/USJ-2M型
有効面積	100㎡ (USJ-2) / 215㎡ (USJ-2M) (室内環境により変えられます。)
定格電源	DC12V (AC100Vアダプタ付属)
定格電流	0.5A
消費電力	6W
寸法	350(W)×430(H)×150(D)mm *高さ(H)は、ゴム足含む
重量	7.8Kg (USJ-2) / 7.9Kg (USJ-2M)

## 参考資料

米国の医療施設でROS（活性酸素種）の混合ガス（マルチガス化）が浮遊菌や様々な材質の表面に付着した病原体細菌を滅菌した実証評価

〈滅菌された細菌、ウイルス、バクテリア等〉

### 1.バクテリア

- ・アシネトバクターパウマンニ
- ・バクテロイデスフラジリス
- ・パークホルデリア・セパシア
- ・クロストリジウム・デフィシル
- ・クロストリジウム・ソルデリイ
- ・カルバペネム耐性
- ・エンテロコッカス・フェカリス
- ・大腸菌
- ・大腸菌O157:H7
- ・リステリア菌
- ・サルモネラ菌
- ・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
- ・膿瘍
- ・肺炎桿菌
- ・緑膿菌
- ・黄色ブドウ球菌
- ・バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌
- ・バンコマイシン耐性腸球菌

### 2.ウイルス

- ・A型肝炎
- ・B型肝炎
- ・C型肝炎
- ・H1N1
- ・インフルエンザ
- ・ノロウイルス
- ・コロナウイルス

〈臭気〉臭気、臭い、エチレンを99%除去します。

## コロナウイルスと世界的なリスク

抗菌薬耐性病原体は、活発な症例が現れ始めるまで検出が難しく、長期にわたる潜伏期間とともにリスクが高まるため、公衆衛生に課題をもたらします。

また症例が特定のウイルスの出現とすぐに関連していない場合、検出はさらに遅れる可能性があります。GCBRに対処するための既存の方法には、効果のない呼吸マスク、高価で危険な洗浄用化学薬品、感染の疑いのある人々の隔離などがあります。これらのリスクは、最近のコロナウイルスの大流行の暴露で明らかです。

ステライザは感染症対策の効果的な抑止力です。

ウイルスや細菌に反応し細胞壁を強力に酸化し、細胞核まで完全に破壊し死滅させ、抗体を作らずRNA/DNA耐性突然変異はありません。

# SterilizAir

## 取扱説明書



## USJ-2 / USJ-2M

\*画像はUSJ-2

## ご使用前に

- 特徴 ..... P3
- 安全上の注意 ..... P4
- 使用上の注意 ..... P5
- 設置の仕方 ..... P5

## 取り扱い方

- 操作方法 ..... P6
- 保守点検方法 ..... P7
- 仕様 ..... P8

## その他

- 参考資料 ..... P8

## 特徴

『SterilizAir』（ステライザ）は、世界最先端の『AOP』（Advanced Oxidation Process：促進酸化方法）と次世代の殺菌方法と言われる『ハイパーソニック』（極超音波）技術を併用・融合した画期的な「空間浄化システム」です。

空気（空気中の湿気）と電気だけで、強力な酸化作用を持つ『気相活性酸素種プラズマ』（オーガニックのROS：Reactive Oxidation Species）、OHラジカルなどを生成融合し、空気中やモノに付着したウイルス・バクテリア・カビなどを素早く不活性化し破壊します。

新型や多剤耐性菌など様々なウイルスやバクテリアなどからの感染リスクを大幅に減少させます。ウイルスや細菌の細胞壁を強力に酸化して細胞核まで破壊し、抗体を作らずRNA / DNA耐性突然変異もありません。装置内の装備品の機能損耗や金属の腐食を招く塩素成分を含まない除菌・除染方法として研究開発が進められており、不活性化を達成した後は水と酸素に再分解され人や動物に無害で環境にも優しい革新的なテクノロジーです（特許申請済）。

このテクノロジーは、米国・国防総省が化学兵器（C: Chemical）、生物兵器（B: Biological）を用いたテロへの対策として開発し、実際に使用されている技術のひとつです。

- ▶ 多くの細菌・ウイルス、カビなど微生物が生存するための酵素プロセスを停止させ破壊します。
- ▶ 空気中やモノの表面に付着した菌や有害物質粒子をほぼ完全に除菌・分解除染します。床、テーブル、器具やドアの取手、スイッチ、椅子などの表面に付着している細菌やウイルスを除去することができます。
- ▶ 促進酸化法は細菌やウイルスなどが抗体性にならないことが実証され、近年問題になっている多剤耐性抗体の対策にも有効です。また除菌・除染後に酸素と水に分解するので人や動物に無害で環境にも負荷をかけません。  
（米国国立衛生研究所・衛生病院での検証による）  
数多くの研究論文で安全であることが証明され米国では多くの食品工場などで使用されています。

### SterilizAirの適用範囲

除菌方法	オゾン発生器	紫外線ランプ	SterilizAir
除菌率	7.6%	11.1%	99.9%
酸化	7.6%	効果なし	99.9%
重金属除去	効果あり	効果なし	効果あり
備考	遅い反応速度 酸化剤やオゾンの残留 窒素酸化物の発生	遅い反応速度 酸化剤やオゾンの残留 窒素酸化物の発生	速い反応速度 残留物なし 無毒性

## 安全上の注意

### 警告

- 電源プラグのほこりは定期的に取り除いて下さい。  
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んで下さい。  
ショートによる火災・感電の原因になります。
- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なって下さい。  
感電やけがの原因になります。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しを行わないで下さい。  
感電・やけど・けがの原因になります。
- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。  
(異常の一例)
  - 異常な音がする
  - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
  - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
  - 運転中時々電源が切れる
  - 煙が出る
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないで下さい。  
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源コードをたばねて通電しないで下さい。  
過熱するとやけど・火災の原因になります。電源コードは必ずのばして使用して下さい。
- 持ち運び時、収納時に電源コードを引っ張らないで下さい。
- 分解・修理・改造をしないで下さい。  
火災・感電・けがの原因になります。
- 水まわり、風呂場など水のある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 本体を水につけたり、本体に水をかけないで下さい。  
火災・感電の原因になります。
- SterilizAirに向けてスプレーをかけないで下さい。  
(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)

- 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)可燃性のもののそばで使わないで下さい。
- 油煙の舞う場所や近くで使用しないで下さい。
- 加湿器などの蒸気が当たる場所で使わないで下さい。  
成分濃度が濃くなる可能性があります。

### 注意

- 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しないで下さい。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張るのではなく必ず電源プラグをもって引き抜いて下さい。
- 長時間使わない時は必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 乗ったり、寄りかかたりしないで下さい。
- 吸気口や吹き出し口をふさがないで下さい。
- 吸気口や吹き出し口に指や金属などの異物を入れないで下さい。

## 使用上の注意

- 成分濃度が高くなる場合がありますので使用時は適度な換気を行なって下さい。
- 有効面積の1/2以下の密閉された空間では使用しないで下さい。
- 使用中に背面カバーを絶対に開けないで下さい。

## 設置の仕方

### ■周囲をあけて設置

- 上方1m以上、左右10cm以上あけて設置して下さい。

### ■水平で安定した場所に設置

- 不安定な場所で使用しないで下さい。
- 倒したり、傾けて使用しないで下さい。

- \* 台の上など高い位置へ設置した方が成分が拡散しやすくなります。
- \* 高温多湿の環境では成分濃度が高くなる場合がありますので十分な換気をして下さい。
- \* 直射日光の当たる場所では使用しないで下さい。

## 操作方法

1. 付属のACアダプタを電源差込口に差し込んで下さい  
\*専用のコンセントを使用することをお勧めします
2. 電源スイッチを「ON」にすると動作を開始します
3. ダイヤルで風量・パワー(モード)を調整できます
4. 電源スイッチを「OFF」にすると動作を停止します



電源差込口

電源スイッチ

ダイヤル

### ■ 風量調整について

#### ダイヤル

0～3は、超音波モード

4～10は、超音波 + ファンモード

小さい目盛(0～5)でご使用の場合は、一度ダイヤルを10まで回してから小さい目盛(0～5)へ戻すようにして下さい。

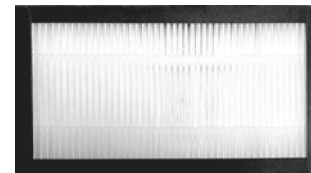
## 保守点検方法

### ⚠ 警告

SterilizAirの内部の反応器は高電圧を使用していますので、保守点検時は必ず電源スイッチをOFFにするとともに電源プラグをコンセントから抜いてから背面カバーを開けるようにして下さい。

### ■ 交換が必要なもの

- フィルター (半年に一度)
- 反応ユニット (目安3年に一度)



フィルター



反応ユニット

\*反応ユニットは機種により異なる場合があります

1. 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい
2. 背面カバーを開けて下さい
3. 内部フィルターの清掃または交換、高圧放電管を交換して下さい
4. 背面カバーを閉めて下さい

### フィルターについて

- ご使用いただく環境にもよりますが、1～2週間に一度、吸気口の外側から掃除機でフィルターについた埃を清掃して下さい
- 1ヶ月に一度は背面カバーを開け、内部のフィルターについた埃を掃除機で清掃して下さい

\*埃がフィルターに溜まり本体内に入る空気量が減ると成分生成能力が落ち、また綿埃などが入るとプラズマによりパチパチと音がすることがありますので、電源を抜きフィルターを掃除して下さい

### 反応ユニットについて

- 交換時期が来ましたら販売店へご連絡下さい